

町長の  
まち・ひと・しごと  
魅力発信

～ 事業所訪問 vol.10 ～

## 「有限会社 秩父ワイン」

町内には、優れた技術を持った会社が多く存在します。事業所の持つ技術や魅力を町長自ら訪問して、目で見て、お話を伺い、住民に情報発信する「事業所訪問」を連載します。



製造工程の説明を受ける森町長

### 町長の見て・聞いて・話して

第10回の事業所訪問は、10月24日に有限会社秩父ワインを訪問し、島田昇社長にお話を伺いました。

有限会社秩父ワインは創始者・浅見源作氏の熱意により、昭和15年(1940年)にワイン造りに成功しました。その後は「秩父生葡萄酒」として、試行錯誤を繰り返しながら造り続け、昭和34年(1959年)にフランス人神父により「ボルドーの味」と賞賛されてから、秩父の銘醸ワインとして評価が高まりました。今もなお、その情熱は引き継がれ、名前とともに「源作印ワイン」として伝えられていました。

日中と夜間の寒暖の差に恵まれ、アルカリ性土壌のブドウ栽培に最適な環境で育ったブドウはカベルネ・ソーヴィニオンをはじめ、10種類ほどあり、1年間分の仕込みは9月末から10月中旬に行われ、その後は発酵の期間となり、よく寝かせたものは翌年11月頃、ビン詰め作業を行うとのことでした。720mlのワインは年間およそ10万本造られ、自社や小売店、問屋、ネット販売等で販売されています。

「ワインが一般的ではなかった時代に苦勞を惜しまず、“孫の代までに日の目をみればいい”と諦めずに作り上げてくれた創始者のおかげで今がある」と話す言葉に熱い思いを感じるとともに、地元を大切に、愛情を込めたワイン造りの「本物の味」を受け継ごうとする五代目のひたむきな



五代目の島田社長(右)

姿勢が80余年にわたる歴史を支えてきた証であると感じました。

### わが社の主力商品

多くの方々に愛される「源作印ブランド」「GKTシリーズ」以外にも小鹿野町両神の自社農園で栽培した、「KARASAWA」シリーズや「山ぶどう」(ともに赤ワイン)「G-3 シャルドネ」白ワインは自社直売所でないとう入手困難な商品です。また巨峰の香りとうやさしい甘さが特徴の「源作印 巨峰ワイン」は限定生産の希少価値の高い商品となっております。



おすすめ商品!  
源作印ブランド

▲金賞受賞  
ちちぶワイン シュール・リー

### ここに自信あり

秩父ワイン五代目の醸造するワインは毎年山梨で開催される「日本ワインコンクール」において、2017年の「源作印 秩父ワイン シュール・リー」白ワインの3年連続5回目の金賞受賞をはじめ多くの賞を受賞しています。

#### 会社概要

代表者 代表取締役 島田 昇  
従業員数 10名  
創 業 1940年  
所在地 小鹿野町両神薄41  
電 話 0494-79-0629